

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
21304	日本史概説A1	古墳時代から平安時代に至るまでの、国家・社会・文化に関する古代史の基礎知識を身につける。	1～4	*		*	
21305	日本史概説A2	古墳時代から平安時代に至るまでの、国家・社会・文化に関する古代史の基礎知識を身につける。	1～4		*		*
21306	日本史概説B1	近世後期から幕末期の政治・社会の動きを通史的に理解する。	1～4	*		*	
21307	日本史概説B2	近世後期から幕末期の政治・社会の動きを通史的に理解する。	1～4		*		*
21308	日本史概説C1	金沢をはじめとする地方都市の近現代史に関する理解を深める。	1～4	*		*	
21309	日本史概説C2	金沢をはじめとする地方都市の近現代史に関する理解を深める。	1～4		*		*
41630	東アジア史概説A1	・東洋史、なかでも中国史の基本的なことがらについて理解を深める。 ・古代中国の政治や社会の特徴を歴史的に捉え、その中国史全体のなかでの意味を考えることができるようになる。	2～4	*			
41631	東アジア史概説A2	・東洋史、なかでも中国史の基本的なことがらについて理解を深める。 ・古代中国の政治や社会の特徴を歴史的に捉え、その中国史全体のなかでの意味を考えることができるようになる。	2～4		*		
41632	東アジア史概説B1	・中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。 ・東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。 ・中国における歴史的事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。	2～4			*	
41633	東アジア史概説B2	・中国史、並びに東アジア史を理解するための基本的な知識を会得する。 ・東アジアの特質を歴史的に理解できるようになる。 ・中国における歴史的事象を、東アジア史という枠組みのなかで捉えられるようになることを目指す。	2～4				*
42790	地中海世界史概説	古代・中世における地中海沿岸世界の発展の全体像を把握する。	1～3	*			
41745	西洋中世史概説A	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となろう。	1～3	*			

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41746	西洋中世史概説B	ヨーロッパ中世史の全体像および個々の重要な事柄とその基層をなす骨組みについて理解を深めること、また歴史を研究する上での基本的な方法について学びとることが、学習目標となろう。	1～3		*		
41747	西洋近代史概説A	近現代の西洋における政治・社会の発展の過程を理解するとともに、その今日的意義について考察する。	1～3			*	
41748	西洋近代史概説B	Bに引き続き、近現代の西洋における政治・社会の発展の過程を理解するとともに、その今日的意義について考察する。	1～3				*
41560	日本古代史特殊講義A	古代国家の支配体制について、唐王朝との比較検討を行いつつ、その全体像と特色を理解する。	2～4	*		*	
41561	日本古代史特殊講義B	古代国家の支配体制について、唐王朝との比較検討を行いつつ、その全体像と特色を理解する。	2～4		*		*
41562	奈良平安時代史特殊講義A	古代社会の実態、および文化・宗教の諸相について、東アジアの各地域と比較しつつ、その特質を理解する。	2～4	*		*	
41563	奈良平安時代史特殊講義B	古代社会の実態、および文化・宗教の諸相について、東アジアの各地域と比較しつつ、その特質を理解する。	2～4		*		*
41568	日本近世政治史特殊講義A	日本近世国家について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4	*		*	
41569	日本近世政治史特殊講義B	日本近世国家について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4		*		*
41570	日本近世社会史特殊講義A	日本近世社会について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4	*		*	
41571	日本近世社会史特殊講義B	日本近世国家について多様な視角から理解を深め、近世史研究の到達点と課題を理解する。	2～4		*		*
41572	日本近代都市史特殊講義A	日本の近代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4	*		*	
41573	日本近代都市史特殊講義B	日本の近代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4		*		*
41574	日本現代都市史特殊講義A	日本の現代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4		0		0
41575	日本現代都市史特殊講義B	日本の現代都市史に関する理解を深め、それに関する史料の読解能力を身につける。	2～4	0		0	

副専攻名 歴史学[基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
42990	中国古代中世史特殊講義	・当該時代の政治史・制度史上の論点について、基本的なことがらを理解する。 ・研究史整理について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。 ・史料批判について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。	2～4			*	
42991	中国近世史特殊講義	・当該時代の歴史についての基本的な事項を理解する。 ・研究史整理の方法を理解し、会得する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		*		
41606	東アジア政治制度史特殊講義	・主として中国古代における、政治史・制度史上の論点について、基本的なことがらを理解する。 ・研究史整理について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。 ・史料批判について、基礎的な手法を理解し、身に付ける。	2～4			*	
41607	東アジア社会経済史特殊講義	・明清時代を中心とした、東アジアにおける社会経済の状況を理解する。 ・東アジアの社会経済史に関する基本的知識を会得する。 ・研究を進める上で必要となる視点や方法を身につける。	2～4		*		
42791	地中海世界政治史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の政治過程上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2～4	*		*	
42792	地中海世界社会史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の社会史上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2～4	*		*	
42793	地中海世界国際関係史特殊講義	古代・中世における地中海世界、とりわけビザンツ帝国周辺地域の国際関係上の問題を具体的に考察し、そのメカニズムを理解する。	2～4	*		*	
41755	西洋中世都市史特殊講義A	ヨーロッパ中世都市史の全体像および個々の論点について理解を深め、中世都市を研究する上での留意点も学びとる。	2～4	*		*	
41756	西洋中世都市史特殊講義B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世都市史の全体像および個々の論点について理解を深め、中世都市を研究する上での留意点も学びとる。	2～4		*		*
41757	西洋中世国制史特殊講義A	ヨーロッパ中世の諸国家の国制に関して、歴史的経緯をふまえてその構造を把握し、比較の眼を養う。本講義で扱うスイスの特質についても理解を深める。	2～4	*		*	
41758	西洋中世国制史特殊講義B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世の諸国家の国制に関して、歴史的経緯をふまえてその構造を把握し、比較の眼を養う。本講義で扱うスイスの特質についても理解を深める。	2～4		*		*

副専攻名 歴史学[基礎]**副専攻のCP(カリキュラム編成方針)**

日本史学、東洋史学、西洋史学、の3専門分野が開講している授業科目(概説や特殊講義)を履修しながら、日本、アジア、ヨーロッパの歴史を広く学び、グローバル化の時代にふさわしい教養を身につける。

副専攻の学習成果

- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての基礎知識を獲得する。
- ・日本、アジア、ヨーロッパの歴史についての研究方法を理解する。
- ・歴史的な視点、グローバルな視点に関心を持つようになる。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41759	西洋中世社会史特殊講義A	ヨーロッパ中世社会に関するさまざまな問題に関して歴史学的な考察の眼を養う。	2～4	*		*	
41760	西洋中世社会史特殊講義B	Aに引き続き、ヨーロッパ中世社会に関するさまざまな問題に関して歴史学的な考察の眼を養う。	2～4		*		*
41765	西洋近代文化表象史特殊講義A	西洋近現代における文化の発展と、その政治・社会的背景全般について理解を深める。	2～4	*		*	
41766	西洋近代文化表象史特殊講義B	Aに引き続き、西洋近現代における文化の発展と、その政治・社会的背景全般について理解を深める。	2～4		*		*